

学校だより

強く 正しく 美しく

心と知恵と技をとぐ
上峰っ子の育成

児童数 581 名

No. 2 1

令和 7 年 1 2 月 2 日 文責 校長 林 寛



11月も終わり、子供たちが登校するのは、あと約3週間になりました。気温もぐっと下がり、ようやく「冬本番」という感じですが、「子供は風の子」の言葉通り、休み時間になると子供たちの元気な声が運動場から聞こえてきています。県内でもインフルエンザやコロナウイルスによる感染症が増えているようで、上峰小でも先週5年生の2クラスが学級閉鎖をしました。飛沫や空気などにより、気をつけていてもかかってしまう病気ですが、学校と家庭が協力して感染予防に努めて、残りの2学期を楽しく過ごさせたいと思います。



校外での学び

修学旅行

インフルエンザの流行が心配される中でしたが、6年生が1泊2日、他の学年は日帰りで修学旅行に行き、学校内ではできないたくさんの学びを深めてきました。

6年生は11/27～11/28で長崎方面、他の学年は11/28に1年生が久留米の青少年科学館、2年生が大牟田市動物園、3年生が西消防署とくすり博物館、4年生が武雄宇宙科学館、5年生が北九州のいのちのたび博物館への日帰りの修学旅行でした。



6年生の修学旅行では、事前に決めたり準備したりした役割や決まりをしっかりと意識した行動が、大変印象に残りました。また、公共の場でのマナーやルールもきちんと身につけてきている様子が見て取れました。

活動の柱のひとつだった被爆体験の継承講話では、話を聞いて感じたことを互いに交流したり、進んでみんなの前で発表したりする様子が見られました。その後の被爆遺構に触れるフィールドワークでは、班で協力し、道に迷いながらも主体的に学ぼうとしている6年生の姿を見ることができ、大変誇らしく感じました。旅行を通して学んだことを、帰ってからお家でたくさんお話したことでしょう。95人全員が楽しく参加ができ、元気に帰ってこられたのは、各ご家庭のサポートのお陰だと思います。ありがとうございました。（写真は、1日目の様子の一部です）



交通安全…今一度ふいかえりを

12月11日(木)～20日(土)までの10日間は、『冬の交通安全県民運動』です。運動のスローガンは今年も、「やめよう！佐賀のよ

からうもん運転」～交通死亡事故ゼロを目指して～となっています。運動の重点は、①横断歩行者をはじめとした歩行者の保護②飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶③自転車等の交通ルール遵守の徹底です。

3つの重点の中でも、特に③は大切な命を守るためにも、子供たちと大人(家庭・学校)で、この機会にふいかえりをしっかりしたいと思います。上峰小では、1学期に中学年の子供が自動車と接触する事故が起きましたが、ヘルメットをきちんと着用していたこともあり、軽傷で済み、今は元気に登校できています。一方、最近、地域の方から「自転車に乗っている小学生が車道で蛇行運転をするなどして危険だ」という連絡がありました。すぐに話を聞き取り指導しましたが、健康な体と大切な命を守るためにも交通ルールを遵守する意識を学校全体で高めていく必要性を感じています。地域で気になる様子があれば、学校にお知らせください。



上峰小 HP ↓

